

■ 高学年の大きな行事が、無事終わりました。

今年度は5年生の宿泊学習（唐津市の波戸岬少年自然の家で研修）、6年生の修学旅行（長崎市の原爆関連の遺構や歴史・文化についての実地学習）をそれぞれ5月第4週・第5週に行いました。2週連続で引率した校長と養護教諭は、へとへとでした。これは、国スポ・全障スポとの兼ね合いです。昨年度から、国スポ等の開催される10月（とその前後）は観光バスの予約がとれないだろう、という見通しがなされ、多くの学校において、通常10月や11月に組まれる大きな行事が、前倒して1学期に行われることになりました。準備不足になりはしないか？ 充実した学びができるのか？ いくつかの心配がありましたが、幸いにも杞憂に終わり、2学年とも、現地ではしか体験することのできない、貴重な学びを積み上げて無事に学校に戻ってきました。

5年 宿泊学習

これまでの先輩たちとは違う「海浜型の研修」をさせたくて、佐賀市北山ではなく、唐津市波戸岬に向かいました。1日目のメインは、東松浦半島を「歩いてさるく」フィールドワークと、みんなで協力して作る野外炊飯でした。波戸岬少年自然の家からスタートし、東松浦半島を北に向かい、半島中をぐるりと徒歩で一回りするフィールドワークは、正直、脱落者が出るだろうと予想していました。ご存じのようにあの辺り一帯は、アップダウンがきつくて、まさに上場「台地」という地形です。その予想の下、私はバスに乗らず、緊急車両として自家用車を波戸岬まで持って行って行っていました。ところが、粘り強い5年生たちは、一人も脱落せず、全行程を歩き切りました。そして夕方の野外炊飯でも、準備から後片付けまで集中して取り組む姿を見せました。引率者の指示をしっかりと聞き、行動に移すその態度を、所員の方々からほめていただきました。

2日目のメインは、何と言っても「カッター体験」です。一艘の船に児童・教職員合わせて20人ほど乗り込み、二人一組で櫂を操り、全員で漕ぎ進めます。気を抜くと大きなけがが考えられる活動なので、海の怖さを知る指導員の方々の厳しいこと厳しいこと。本庄小の先生方の優しい言葉かけに慣れている児童らは、久々のスパルタ指導にけっこうびびっておりました。私の乗った1号艇は、おそらく県内各校に「最も厳しい人」とうわさされる指導員の方が教えて下さいました。大声の叱咤激励に冷や冷やしながらも、最終的には「とても上手になった!」とほめていただき、達成感を得ました。



5/23 カッター体験で懸命に漕ぐ5年生

6年 修学旅行

2日間のフィールドワークを通して、教科書や書籍だけでは体感できない、インターネット等の表層の知識にとどまらない、現地ではしか学ぶことのできない貴重な学習を積み重ねました。特に、被爆者の講話が印象的でした。講師の八木 道子 先生（幼児期に被爆、その後大人になって教職員になり、平和の大切さを訴える活動を数十年継続してこられた方です。）が最初に問いかけられました。「一番若い被爆者は何歳？」そう、答えは79歳です。これまで多くの被爆の語り部さん方が活動してこられましたが、いつの日か近い将来、新聞やテレビで「最後の被爆者の方が亡くなりました。」と報じられる日が来る。「それをもって原爆や核兵器に反対する運動を終わらせてはならない。私が今日、あなた方に『平和のバトン』を渡すから、ぜひ受け取ってほしい。そしてそのバトンを、次の世代、あなたたちより若い世代に引き継いでほしい。」と力強くおっしゃいました。また、ロシアとウクライナの戦争やイスラエルのガザ地区での紛争を例に引いて、「戦争はいけないこと。でも何よりいけないのは、戦争を始めること。」とおっしゃいました。「始めたら、終わらせにくい。今も終わらせるのがいいことと分かっているでも続けているでしょう?」とも。児童が報道で目にしている例を挙げながら、分かりやすく、しかも心にずっと来るような話をして下さいました。おそらく学校に帰ってから6年生は『平和のバトン』をつなぐ活動を進めてくれると信じています。

■ ありがとう、イエローレシートキャンペーン！！

イオン東与賀店でお買い物をされた後、ご自分の応援する団体(この場合は学校)のボックスに黄色いレシートを投函する日が月に1日あります(毎月11日のイオン・デー)。そこで投函されたレシートの1%がその団体に寄付されます。「イエローレシートキャンペーン」と呼ばれています。このたび、寄付された約34,000円分の商品券を、本校PTAを介して本校に寄贈していただきました。学校としては、各担任の先生に「あればいいな、助かるな。」という商品の希望を聞いて、伝えておりましたので、右の写真にあるようなたくさんの商品が届きました。ちなみに、い



6/9 谷口会長(右)から寄贈を受ける校長

ただいた物は、①ジョイントマット(30cm四方のパズルのピースのようなマット。つなげると広いマットにすることができる。教室で寝転ぶことができそう)、②カードゲーム「ウノ」、③バランスボール、④ドッジビーのディスク、⑤雑巾を先端に挟んで掃除ができる「お掃除スティック」です。実物が学校に届いたときには、いったん校長室の会議テーブルに置きましたが、そのテーブルの3分の1が埋まるほど、小山のようなたくさんの品々が並べられました。6月9日(日)、フリー参観デーの日に、谷口PTA会長から学校に寄贈していただきました。これだけのものを学校の予算で買うことは不可能です。学校の予算は、市民の税金で賄われていますので、学習で使う紙や、印刷機、インク代、光熱費、水道代、教材・教具など、児童の学習や生活に不可欠なものしか購入できません。しかし、今回いただいたような物があると、児童の学校生活が潤いますし、豊かになります。イオン関係者の皆様、仲介の労を取って下さったPTA役員の皆様、誠にありがとうございました。

今回いただいた品々は、すでに各担任の争奪戦が始まっています。「ぜひ〇年生に□□□を下さい!」と。学校に寄付されたものですので、ある学級・学年だけに偏らぬよう、公平な配分を心がけ、児童が喜ぶような利活用につなげてまいります。保護者の皆様も、毎月11日にイオン東与賀店でお買い物をされる際には、これまで同様、ぜひイエローレシートによる寄付をお願いいたします。

<今後の主な行事>

6月18日(火) 歯科検診 (1,3,5年)

6月19日(水) さわやかタイム

6月20日(木) 集団登校 地震・火事・津波避難訓練

6月21日(金) 佐賀市人権・同和教育研究会 授業実践交流会⑤

6月24日(月) 全校5時間

6月27日(木) お話広場1・2年 スクール・カウンセラー来校(午後)

7月1日(月) 5年生田植え体験 委員会活動⑥

7月3日(水) 全校の集い

7月4日(木) スクール・カウンセラー来校(午前) 囲碁教室(昼休み)

7月8日(月) クラブ活動⑥ 7月9日(火) 代表委員会⑥

7月10日(水) 学年の集い 給食後下校(13:00ごろ) 個人懇談(13:15~16:45)~7月12日(金)

学校ホームページは

こちらから →



※ お知らせ

6月21日(金)は、「佐賀市人権・同和教育研究会 授業実践交流会」が開かれます。佐賀市の多くの先生方が、佐賀市内の当番校(今年度は本庄小が当番校の一つ)に集まり、人権・同和教育に関する授業を参観し、意見を述べ合う勉強会です。ここで人権・同和教育の指導力を磨き合います。本校では、2の2(授業者:浦田先生)、4の3(授業者:博多先生)、6の2(授業者:山下け先生)の3学級が授業公開します。他の教職員はこの3学級の授業を参観し、意見交換に参加して研修を深めます。

そこで当日は、上の3学級以外の児童は4時間授業で、給食後下校します(概ね 13:10 ごろ)。上の3学級は、5時間目の授業を公開した後の下校となります(概ね 14:25 ごろ)。通常とは違った下校の仕方となりますが、何とぞご理解の上、ご協力下さい。